

感染予防・対応について

家庭でできる感染対策の基本は、こまめな手洗い、正しいマスクの使用、不要不急の外出を控えること、です。
「できるだけ、感染のリスクを下げていく」という考え方に基づいて、一つ一つの対策を確実に行いましょう。

①手洗いをする。流水と石鹸でこまめに行ってください。口や鼻、目等に触る前に手を洗うことが最も有効です。（手洗いが出来ない場合アルコール消毒も有効と考えられている）

①手洗い **正しい手の洗い方**

手洗いの前に
・爪は短く切っておきましょう
・時計や指輪は外しておきましょう

① 流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。

② 手の甲をのばすようにこすります。

③ 指先・爪の間を念入りにこすります。

④ 指の間を洗います。

⑤ 親指と手のひらをねじり洗います。

⑥ 手首も忘れずに洗います。

石鹸で洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

②咳エチケットを徹底する。（マスクがない場合くしゃみ・咳をするときは口、鼻をティッシュで覆う等の咳エチケットを心がけて下さい。マスクが不足している現在においては特に重要です）

②咳エチケット **3つの咳エチケット**

電車や職場、学校など人が集まる場所でやるう

何もせずに咳やくしゃみをする

咳やくしゃみを手でおさえる

マスクを着用する（口・鼻を覆う）

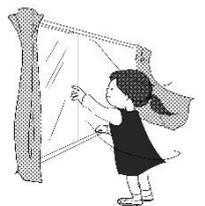
ティッシュ・ハンカチで口・鼻を覆う

袖で口・鼻を覆う

③換気をおこなう（日中は、2～3 時間ごとに窓や扉を開けるなどして部屋の空気を新鮮に）
環境消毒：家族が触れる場所（部屋のドアノブ、照明のスイッチ、リモコン、トイレのレバー等）
空間：症状がある家族とは、できる限り部屋を分けましょう。

④規則正しい生活を心がける。

⑤人が多い場所は避け、不要不急の外出を避ける。



2 「体調不良を感じたら」ウラ面、**様式2**の検温及び健康観察シートを利用して下さい

※医療機関を受診する場合は必ずマスクを着用する

①保健所から今後の対応について指示を受ける。（医療機関で受診した場合、登校等の時期について医師から指示をもらい、その指示により対応する。）

②感染者が出た場合は、学校へ連絡をお願いします。